

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

申請日: 令和7年10月7日

①学校名:	小樽商科大学	大学(国立)	②所在地:	小樽市緑3丁目5番21号				
③課程名:	病院経営アドミニストレーター育成プログラム							
④正規課程/ 履修証明プログラム:	履修証明プログラム(短時間)	⑤定員:	16名	⑥期間:	8ヶ月			
⑦責任者:	教授 藤原健祐		⑧開設年月日:	2022年3月28日				
⑨申請する課程 の目的・概要:	現下の医療機関を取り巻く経営環境は、少子高齢化や人口減少、医療制度改革の進展などにより大きな変化を遂げており、地域の多様な医療ニーズに応えつつ持続可能な経営を実現することが喫緊の課題となっている。こうした状況に対応するためには、「経営分析」「戦略立案」「企画」「オペレーション」など経営のあらゆる局面で確に判断を下し、組織を導くリーダーシップを備えた人材が求められる。本プログラムは、医療機関経営においても他産業と同様に「アントレプレナーシップ」が重要であるとの認識に立ち、本学ビジネススクールの教育経験を活かして体系的なカリキュラムを編成する。コンセプトを「10年後のリーダーを育てる」と掲げ、長期にわたり医療機関の経営管理を担う人材を養成し、経営人材の育成を通じて医療機関の持続可能性を高め、ひいては地域医療全体の基盤強化に資することを目的とする。							
⑩10テーマへの 該当	1 女性活躍	3 中小企業活性化	5 環境保全	7 医療介護	9 起業			
	2 地方創生	4 DX	6 就労支援	8 ビジネス等	10 防災危機管理			
⑪履修資格:	本課程の履修資格は、高等学校卒業以上の者で、以下のいずれかに該当する者とする。 ①学校教育法第102条に規定する大学院に入学することができる者 ②医療・介護・健康等の業界に従事する者であって、個別の履修資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者※ ※②の個別の履修資格審査の対象となる者は、「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校、外国大学日本分校、外国人学校の卒業生など大学卒業資格を有していない者」である。							
⑫対象とする職 業の種類:	医師・看護師をはじめとする医療従事者、医療機関に勤務する事務職員、医療関連産業に携わる方(製薬・医療機器・介護事業など)、地方自治体に勤務する職員							
⑬身に付けること のできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 経営学・マネジメントの基礎知識、医療・地域特有の経営や政策に関する知識、医療・介護・健康分野を横断した新しいサービスデザインや価値創造の手法							
	(得られる能力) 経営環境把握のための「分析力」、根拠をもって戦略を選択するための「意思決定力」、戦略をオペレーションに落とし込むためのマネジメントを「実践する力」							
⑭教育課程:	『経営学入門』や『マネジメントの知識と思考法』の授業により、経営学およびマネジメントの基礎的な知識を体系的に修得し、分析や意思決定の土台を築く。また、『地域ヘルスケアマネジメント』や『病院経営特論』では、地域ヘルスケアの実情や医療機関経営の特性を事例とともに学び、グループ討議等を通じて理論と実践を統合する力を養成する。さらに、『地域ヘルスケアシステムプランニング』においては、これまでに学んだ知識とスキルを総合的に活用し、地域課題をテーマとした新たなヘルスケアサービスモデルの構想とプランニングを行うことで、実践的な価値創造能力を高める。加えて、『ヘルスケアデータ活用ハンズオン』では、医療・介護・健康分野のデータを用いた課題抽出と分析に取り組み、生成AI等の先端技術を活用したソリューションの開発とプロトタイプングを通じて、現場に実装可能な実践力を身につける。							
⑮修了要件(修了 授業時数等):	全6科目の合格認定(全96時間のうち、各科目2/3以上の出席(受講)とレポートの提出が必須)および最終課題の審査(提出物の内容及びプレゼンテーションの評価)の合格							
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	履修証明書を付与する							
⑰総授業時数:	96	時間	⑱要件該当 授業時数:	75	時間	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	78.1	%
⑳該当要件	企業等	双方向	○	実務家	○	実地		

⑳成績評価の方法:	講義への出席(受講)状況、レポートの内容と提出状況、最終課題の内容およびプレゼンテーションの内容を総合的に判断して成績評価を行う。
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。併せて医療機関及び他大学により組織する「小樽商科大学病院経営アドミニストレーター育成(HUHMA)プログラム運営専門部会」において、本プログラムの成果の検証や評価を行う。また、当該検証・評価結果については「小樽商科大学グローバル戦略推進センター北海道病院経営アドミニストレーター育成拠点ホームページ」において公表する。
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対し、受講後アンケートを実施するとともに、フォローアップ調査を実施し、プログラム受講が業務にどのように貢献しているか検証する。
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 医療機関及び他大学により組織する「小樽商科大学病院経営アドミニストレーター育成(HUHMA)プログラム運営専門部会」を年に2回開催し、から医療業界の動向やニーズを把握しながら、外部意見についてカリキュラムに反映させていく。
	(自己点検・評価) 医療機関及び他大学により組織する「小樽商科大学病院経営アドミニストレーター育成(HUHMA)プログラム運営専門部会」を年に2回開催し、プログラムの自己点検・評価を行う際に企業等の意見を取り入れ、また事業の実施状況、課題等を共有しながら、外部意見についてカリキュラムに反映させていく。
㉔社会人が受講しやすい工夫:	夜間、土曜日開講、授業のアーカイブ配信、オンライン受講
㉕ホームページ:	<a href="https://obs-huhma.jp/">https://obs-huhma.jp/</a>

事務担当者名①	小松 雅美	担当部署:	企画総務課 研究・社会連携推進室 地域連携係
事務担当者名②	中村 義伸		
事務担当者連絡先:	(電話番号)	0134-27-5278	
	(担当係E-mail)	<a href="mailto:re-suishin@office.otaru-uc.ac.jp">re-suishin@office.otaru-uc.ac.jp</a>	
	(担当者①E-mail)	<a href="mailto:komatsu@office.otaru-uc.ac.jp">komatsu@office.otaru-uc.ac.jp</a>	
	(担当者②E-mail)	<a href="mailto:yoshino@office.otaru-uc.ac.jp">yoshino@office.otaru-uc.ac.jp</a>	

- \* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。
- \* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。